

宮城県考古学会連絡紙

第37号

2007年 3月30日発行

事務局 〒980-8511 仙台市青葉区土樋一丁目3-1
東北学院大学文学部歴史学科佐川研究室気付

平成19年度 宮城県考古学会総会・研究発表会

今年度はエル・パーク仙台（仙台市青葉区一番町141ビル）にて開催します。内容は下記のとおりです。特に午後の研究発表は、日頃熱心に取り組んでいる会員諸氏の研究成果に触れるよい機会です。研究発表は会員以外の方も参加できますので、どなたもお誘い合わせのうえご参加下さいますようご案内します。

主催：宮城県考古学会

共催：宮城県教育委員会・仙台市教育委員会（予定）

日時：平成19年5月20日（日）
午前11時～午後4時30分（10時30分受付開始）
午前11時～12時 総会
午後1時～4時30分 研究発表会

会場：エル・パーク仙台（仙台市青葉区一番町141ビル6F）

参加費：無料

昼食：仙台市中心部ですので近くのレストランなどをご利用下さい。
（事務局側での弁当予約はいたしません）。

懇親会：午後5時30分から懇親会を予定しています。奮ってご参加下さい。

会場：シェルブールホテルユニバース仙台3F（総会会場から徒歩3分）

懇親会費：一般5,000円、研究発表者および学生3,000円

《懇親会の参加申し込み方法》

- 下記まで郵送・電話・FAXにてお申し込み下さい。
- 申し込み締め切り：平成19年5月6日（土）

《申し込み・問い合わせ先》

長島榮一

平成19年度宮城県考古学会総会及び研究発表会等日程

10:30～ 受付

11:00～12:00 平成19年度宮城県考古学会総会
開 会
議 事
1 平成18年度事業報告
2 平成18年度収支決算報告・監査報告
3 平成19年度事業計画（案）
4 平成19年度収支予算案
閉 会

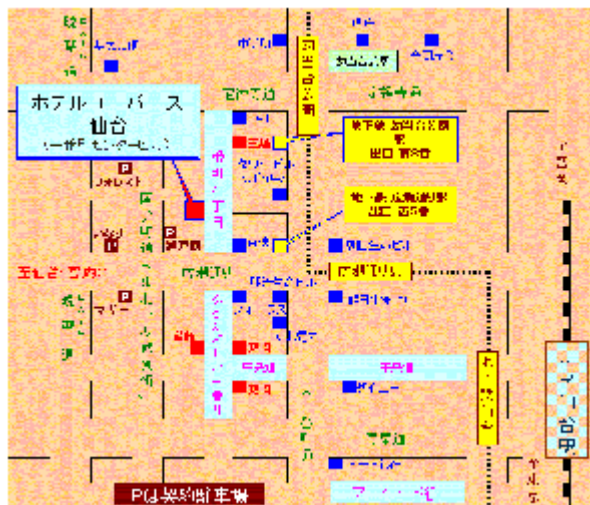
12:00～13:00 昼 食・休 憩

13:00～16:15 研 究 発 表 会

- ①佐々木和博「国宝・慶長遣欧使節関係資料における鑑の系譜と年代」 13:00～13:30
- ②渡部弘美 「仙台市台の原・小田原窯跡群について
－与兵衛沼窯跡調査を中心として－」 13:30～14:00
- ③佐藤敏幸・大久保弥生 「宮城県湖西産の須恵器について」 14:00～14:30
- ④高橋誠明 「大崎地方における関東系土師器の出自について」 14:30～15:00
- 休 憩
- 15:00～15:15
- ⑤吉川昌伸 「里浜貝塚の植生史と生業」 15:15～15:45
- ⑥鹿又善隆 「更新世末から完新世初頭にみられる人類の環境適応
－東日本の事例から－」 15:45～16:15

16:15～16:30 閉 会 （事務連絡含む）

17:30～ 懇親会（シェルブールホテルユニバース仙台3F）



ホテルユニバース仙台周辺見取り図

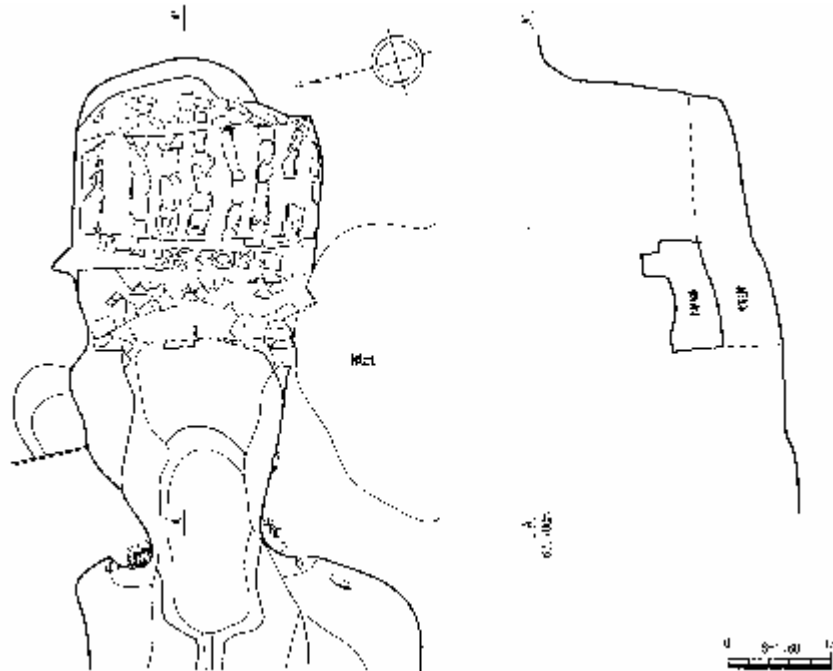
仙台市与兵衛沼窯跡の保存要望書提出について

仙台市の都市計画道路（川内・南小泉線）建設に伴い、平成18年度に仙台市教育委員会がおこなった台原・小田原窯跡群内の与兵衛沼窯跡の調査で、9基の瓦窯が発見されました。このうち1・3号窯跡は、瓦を積み上げて窯体を構築したロストル式平窯であることがわかりました。「ロストル」とは窯の床下に燃焼効率を高めるために設置した焰の通る溝のことで、同構造の窯跡の調査例は、東北地方では同じ台原・小田原窯跡群内の神明社窯跡での発見に次ぎ2例目となるものです。

神明社窯跡は多賀城第Ⅱ期の瓦を焼いた8世紀後半の窯跡ですが、今回発見された2基はいずれも貞観の地震（西暦869年）後の多賀城第Ⅳ期の瓦を焼いた9世紀後半代の窯跡です。重厚な構造のロストル式平窯の発見例は全国的にみても稀少であり、与兵衛沼窯跡の2基の窯跡は保存状態の良さの点からみても大変貴重なものと言えます。

宮城県考古学会では、発見された遺構の重要性と保存状態の良好さに鑑み、平成19年1月23日付け、会長名で仙台市長と仙台市教育長宛に保存対策に関する要望書を提出しました。要望書の詳細は『宮城考古学』第9号および「宮城県考古学会ホームページ」に掲載を予定しておりますのでそちらをご参照ください。

当該都市計画道路建設に関しては、平成19年度にも新たに別地点で窯跡の調査が予定されています。古代東北地方最大級の窯跡群である台原・小田原窯跡群の歴史的意義を後世に伝えていく上でも、今回発見された窯跡が現地に保存される意義は極めて大きいものです。



仙台市 与兵衛沼 3号窯跡

博物館イベント情報

東北歴史博物館 多賀城市高崎1丁目22-1 TEL022-368-0101

- ▼特別展「町絵図・村絵図の世界」 期間：4月21日(土)～5月27日(日)
- ▼特別展「慈覚大師円仁とその名宝」 期間：6月16日(土)～7月29日(日)

仙台市博物館 仙台市青葉区川内26 TEL022-225-3074

- ▼企画展「伊達な優品勢ぞろいー仙台市博物館の20年ー」 期間：4月6日(金)～5月13日(日)
- ▼特別展「吉村作治の早大エジプト発掘40年展」 期間：5月25日(金)～7月22日(日)

多賀城市埋蔵文化財調査センター 多賀城市 TEL022-368-0134

- ▼企画展「発掘された遺跡ー平成18年度の調査成果」 期間：6月6日(水)～10月8日(月)
- 「平成18年度 遺跡調査報告会」 6月16日(土)
- ▼埋蔵文化財調査センター体験館オープン 12月1日(木)・・・予定・・・
 - 展示室1 考古資料の通史的展示
 - 展示室2 暮らしの道具ーむかしと今ー
 - 展示室3 パネル展

仙台市富沢遺跡保存館 仙台市太白区長町南4-3-1 TEL022-246-9153

- ▼企画展「若林城ー政宗の城ー」 期間：4月20日(金)～6月17日(日)
- ▼特別企画展「(仮)スピリチュアル考古学」 期間：7月20日(金)～9月17日(月)
- ▼企画展「(仮)交流の証」 期間：10月19日(金)～12月9日(日)

仙台市縄文の森広場 仙台市太白区山田上ノ台町10-1 TEL022-743-6711

- ▼企画展「七北田川ぞいのムラ」 期間：4月10日(火)～6月24日(日)

パネル展・展示会など

宮城県教育庁 文化財保護課 TEL022-211-3684

- ▼「平成18年度 宮城の発掘調査パネル展」
特別史跡多賀城跡を含む14遺跡の調査成果を紹介しています。
会期：3月26日(月)～4月6日(金)
会場：県庁1階ロビー※土日閉庁日は除く

仙台市教育委員会 文化財課 TEL022-214-8892～4

- ▼「発掘この1年ー特集与兵衛沼窯跡ー」
棟平瓦、鬼瓦など与兵衛沼窯跡出土品を展示しています。
会期：3月27日(火)～5月20日(日)
会場：東北電力グリーンプラザ

研究部会の動向

- ▼ **旧石器時代研究部会**（代表：佐久間光平、事務局：小野章太郎）
下記内容で第2回旧石器研究部会が開催されました。
日 時：平成19年3月17日（土）午後1時30分～午後4時00分
場 所：仙台市縄文の森広場 会議室
内 容：仙台市山田上ノ台遺跡および上ノ原山遺跡出土旧石器の観察ほか
- ▼ **古墳・古代研究部会**（代表：辻 秀人、事務局：佐藤 敏幸 ※個人情報につき連絡先削除）
「古墳時代研究部会」は、「古墳・古代研究部会」に名称が変更されました。
第1回例会を下記のとおり開催します。
日 時：平成19年4月21日（土）午後2時00分より
場 所：東北学院大学考古学実習室（仙台市土樋）
内 容：『東山遺跡・壇の越遺跡特集』
発表者：村田晃一・吾妻俊典
※当日、参加費としてコピー代（500円程度）を徴収します。

会 員 通 信

「考古学と取り組んで今年で60年。これまで発表した小文を整理し、^{いほう}彙報1『歴史を掘り起す』と題して近く刊行予定です。B5版・カラー8ページ、本文287ページ。多くの方々の研究の一助としてご活用願えれば幸いです。刊行日、内容、価格、入手方法など、詳しくは次号に紹介予定。」
丸森町金山字鬼形27 志間泰治会員

役員会・幹事会の動向

- ▼ **代表・役員合同幹事会**
3月10日（土）東北歴史博物館大会議室において、「宮城県考古学会設立10周年記念事業」、「平成19年度宮城県考古学会総会・研究発表会」、「与兵衛沼窯跡保存要望書」、その他について話し合いがおこなわれました。詳細については平成19年度宮城県考古学会総会にて報告する予定です。

ホームページについて

宮城県考古学会では、発掘調査・研究会に関する情報などを下記ホームページにて掲載しておりますのでご覧ください。また、お手元に発掘調査・研究会などの情報がありましたら、メール「E-mail miyagikouko@hotmail.co.jp（宮城県考古学会）」等にて気軽にお寄せください。ただし、図・写真や個人情報等につきましては、著作権・免責事項の関係で掲載できない場合もありますのでご注意ください。

「宮城県考古学会ホームページ」URL <http://www.k5.dion.ne.jp/~mkouko/>

総務幹事会からのお知らせ

▼ 会費納入

2006年度会費未納の会員の皆様、会費を早期に納入願います。2005年度以前の会費が未納の会員の方に対しましては、会費納入を確認次第、会誌8号をお送りいたします。ご理解とご協力のほど、よろしくお願いいたします。

▼ 住所等の変更

また、住所・電話番号(FAX・E-mail)・勤務先(所属校)などに変更がございましたら、下記事務局までご連絡願います。

▼ 宮城県考古学会の刊行物頒布案内

会誌『宮城考古学』第1～3号 (在庫無し)

会誌『宮城考古学』第4～8号 (頒布価格 各2,660円)

購入方法: 価格は送料込みの価格です。購入ご希望の方は、下記事務局あて郵便・電話・FAX等でお申し込みの上、郵便振替にて下記入会案内の口座に代金をお送りください。

問い合わせ・連絡先: 総務幹事会 代表 佐川正敏

〒980-8511 仙台市青葉区土樋一丁目3番1号 東北学院大学文学部佐川研究室 宛

TEL: 022-721-3245 FAX: 022-264-6530

入 会 案 内

当学会では、考古学や歴史を学んでいる方興味関心がある方など会員を随時募集しています。

入会申し込みは、氏名(フリガナ)・住所・電話番号(fax/e-mail)、勤務先(学校名)の連絡先を明記の上、年会費(4,000円・学生等2,500円)を郵便振替にてお送りください。なお、通信欄には必ず「入会」とお書きください。

郵便振替口座 02210-1-41792 宮城県考古学会

情報・寄稿などをお寄せ下さい

次回の連絡紙(第38号)は平成19年6月下旬発行の予定です。考古学に関する情報や寄稿、会員通信にも役立ててもらいたいと思います。また、連絡紙の内容や取り上げて欲しいこと、提言などご意見ご要望もお待ちしております。

概ね6月上旬頃までにお知らせいただければ掲載可能です。郵便またはFAX、E-mailで下記までお願いします。

連絡先: 連絡紙幹事会 代表 茂木好光

E-mail miyagikouko@hotmail.co.jp (宮城県考古学会)